

キンダーブック3

7月号



表紙の絵から

今月は夏に美味しい果物を楽しめる海のように見立てました。どの果物も色鮮やかでおいしそうですね。大きなスイカの船は、切り方によって船体や帆などにそれぞれ見立てています。皮をむいたり切ったりすると見え方が変わる果物に注目して、観察を促してもよいですね。



おまつりこうさく

ねらい 夏祭りを想像しながら材料や道具を工夫し、物を作ることに興味をもちましょう。

夏祭りの工作を楽しみます。「夏祭りに行ったことはある?」「夏祭りにはどんな屋台があったかな?」「みんなはどんな屋台が好き?」などと聞き、屋台のイメージをふくらませて、制作活動の意欲につなげましょう。



最初にかき氷と焼きとうもろこしの作り方を紹介します。より本物らしく作るため、どのような工夫をしたらよいかアイデアをたくさん出し合ってみましょう。わなげの工作では、子どもたちそれぞれの表現が活かされるとよいですね。



作った物でお祭りごっこを楽しみましょう。ほかにはどんな屋台を作りたいか尋ね、子どもたちが考えた店を作れるように、材料や道具を用意してもよいですね。子どもたちのアイデアにあふれたお祭りごっこを楽しみましょう。



イラストレーターさん



ねらい イラストレーターさんの仕事を知り、絵に対する思いや工夫などに気づき、伝え合しましょう。

つかい方のポイント ひとつの絵を描くのに、どのような思いで、どのような工夫をしているのか、子どもたちが気づけるようにしましょう。実際の虫を観察して描いているところにも関心を向けられるとよいですね。



どうやって たすける?



ねらい 穴に落ちたカメをどうやって助けるか考え、思考力を育みましょう。

つかい方のポイント 浦島太郎がカメを救出する方法を考えます。誌面をじっくりと観察し、つかえる道具はないか、落ちて自然物で使える物はないか思考を巡らせます。カメが泳げることに注目し、いろいろな方法を考えてみましょう。

「キンダーブック3」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった 指導計画の文例

◆コーナー	◆子どもが経験すること	◆保育者の配慮	◆5領域	◆10の姿
<p>観察力を養い 探究心を育む</p> <p>「おまつりこうさく」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと相談しながら作る物を決める。 必要な材料や道具を自分たちで考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士の話し合いをたいせつにし、保育者は状況に応じた声かけて、子どもたちが自分たちで決められるようにサポートする。 必要な材料や道具を自分たちで考えられるように、さまざまな素材を用意し、選べる環境をととのえる。 	<p>環境</p> <p>言葉</p> <p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 協同性 思考力の芽生え 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
<p>社会のしくみや 仕事を知る</p> <p>「イラストレーターさん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵の色づかいや表現方法の違いに気づく。 自分でも絵を描いて表現する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 色の塗り方など、表現の工夫に注目できるように問いかけ、気づいたことを発表する機会を設ける。 子どもが感じたことを自由に表現できる雰囲気をつくる。 絵を描く活動につながるよう、さまざまな画材を用意する。 	<p>表現</p> <p>言葉</p> <p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな感性と表現 言葉による伝え合い 思考力の芽生え 協同性

おはなしコーナーでは、社会コーナーで描いていた作品を楽しめます!

